

平成30年度 福岡女子商業高等学校事業計画書

1、施設の概要

学校名	所有区分	郵便番号	学校(会場)所在地	電話番号	FAX番号
福岡女子商業高等学校	法人所有	811-1203	福岡県筑紫郡那珂川町片縄北1丁目4番1号	092-952-2231	092-952-5934

2、学生の概要

(1)設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧(平成30年度3月21日現在 1年は見込数)

大学科	学年	学科	コース	定員	在籍数	収容率(%)
商業	1年	商業系	特進コース	30名	31名	103.3%
			商業コース	210名	91名	43.3%
	2年	総合ビジネス科	進学・高資格取得コース	40名	34名	85.0%
			総合ビジネスコース	120名	40名	33.3%
	3年	情報ビジネス科	進学・高資格取得コース	40名	33名	82.5%
			総合ビジネスコース	120名	79名	65.8%
			情報ビジネスコース	80名	61名	76.3%

(2)平成30年度入学者数・卒業者数・退学者数・除籍者数予測一覧

	入学者数	編入者数	卒業者数(終了者数含)	退学者数	除籍者数	増加予測人数
商業	122名	0	198	6	0	-70

3. 教職員関係

(1) 平成30年度管理職の概要

職名	氏名	備考(新任・留任等)
学校長	柴田 晴夫	留任
教頭	濱田 芳宏	留任
事務長	村上 道彦	新任

(2) 平成30年度教職員の概要

		合計(人)
教員	本務	34
	非常勤	9
職員	本務	5(就職指導員含む)
	兼務	1(事務長)

3、事業の概要

(1)事業の概要

本校は、平成29年度より学校法人八洲学園として新たなスタートをする。この私学化を契機として、商業教育の特色化を図るとともに、部活動強化に取り組むなど、中学生にとって魅力ある教育活動を展開し、入学生の増加を図る。

- ・ 今後商業分野で、一層の需要が見込まれるEC(電子商取引)に必要な基礎技能の取得のため、生徒と教職員にタブレットを配布し、校舎全館でWi-Fiを整備する。また、教職員の技術を高めるために積極的にIT企業との人的交流を図る。

(2)主な事業の目的・計画

年度	事項	概要	進捗状況
29～	ICTの活用 (タブレットの配布と校舎全館にWi-Fiの設置)	初年度は、教職員と生徒全員にタブレットを貸与し、機器の取り扱いに習熟させる。また、調べ学習や語学学習などに活用し、ICTの有用性を理解させる。次年度以降は、より高度な活用を研究し、ICT活用技能はもとより、最終目標である電子商取引技能を習得させるなど、商業教育の差別化、特色化を図り入学生の増加を図る。	平成29年度 校内Wi-Fiの整備、及びchromebookを全教員・全生徒に配布 9月より ロイノートを授業に活用 10月25日(水) 「ICT活用公開授業」を実施。近郊の中・高の先生をはじめ多数の参加者あり、翌日の朝日新聞にも掲載された。 平成30年度 スタディーサプリを導入予定(1年特進コース、2年高資格取得コース、3年全クラス導入予定)
30～	特進コースの新設	進学希望の生徒の増加に伴い、国公立大学及び地元難関私立大学への進学を目指すコースを新設し、推薦試験以外に一般入試による進学ができる指導体制を確立する。これにより、商業の強みを生かしながら、進学・就職の両道を目指す学校として入学生の増加を図る。	・30年度特進コース入学予定者は31名である。今年度、高資格取得コース ・今年度、高資格取得コースでの日商簿記2級の合格者は15名、4年生大学進学者が24名であった。特進コースでは、特に4年制大学の進学者を増やすとともに、高資格(簿記、情報処理)の合格者の増加を目指す。
30～	英語教育の充実	国際的に活躍する人材を育成するため、ビジネス英語の充実を図る	・ALTの常勤雇用 ・修学旅行を英語力向上を中心とした選択制の導入 ①国内 福島イングリッシュビレッジ ②海外 フィリピンセブ島語学研修 ③海外 オーストラリア、パースホームステイ
30～	課外・課題研究の充実	最近希望者の多い、公務員、医療系専門学校、看護師に対応するため、課外授業・課題研究の時間を使って生徒の学力の向上を図る	・29年度、専門学校と提携をし公務員講座を実施した。今年度の公務員合格者は3名であったが、来年度は内容をさらに充実させて合格者の増大を目指す。

30～	電子商取引の充実	chromebookを用いて電子商取引の基本的な知識・技術を習得させ、女子商マルシェを通じて実践で利用することによってIT社会に通用する人材を育てる。	・29年度11月に実施した女子商マルシェで、3年生情報ビジネスコースにおいてインターネットを利用した予約販売を実施した。来年度は、学習した内容をさらに進化・充実を図る。
30～	制服の変更	従来のプリーツスカートにダブルのジャケット、白の丸襟シャツに赤いリボンのスタイルから、ジャケットはダブルとシングルボタン、スカートとスラックス、リボンとネクタイの選択制に変更。従来の制服のお下がりも利用可能、シャツもレギュラーカラーを選択肢に追加し、生徒の自主性に任せた制服を導入。	・30年度入学生は、スラックスを選択した生徒が5名、シングルジャケット76名、ダブルジャケット36名、その他がお下がりを利用する。

(3)施設・設備の整備計画

・本校は伝統的に部活動が盛んで、常に県大会上位を占める活躍をしている部活動がある。特にハンドボール部は過去全国大会に出場した経験もあり、今年度もベスト4に入る活躍を見せている。また、全日本チームの主将を務める永田選手は本校の出身者である。今後、更なる活躍を期するためには、練習拠点となる第2体育館を早急に建設する必要があるため、29年度予定していた体育館を30年度建設する。また、現在の体育館と多目的ホールは、いずれも狭く雨天時の正課体育の活動場所の確保にも苦慮している。

(4)授業料等の変更
なし

(5)卒業生数、進路状況

卒業生数	就職			進学			家事手伝い	未定
	学校紹介	家業	公務員	四大	短大	専門学校		
197	105	0	3	24	20	41	3	1

(6)生徒の就職、進学の状況

就職指導員2名を配置、年間800社以上を訪問している。求人約300社以上、その中から厳選して200社程度を生徒に紹介。就職率100%の学校として中学校に定着している。進学も地元国立大学、私立大学等へ毎年進学しているが商業高校は即就職というイメージが強く、今後進学面の強化と併せ広報が必要である。

(7)教員の採用・退職計画

年度	事 項	概 要
29	転退職者(専任10名、講師11名 計21名)	町派遣者4名(教諭3、事務長1)を打ち切り
30	教職員採用(常勤講師10名)	専任19名、常勤講師15名、非常勤講師9名

(8)今後の課題

生徒数の確保に向けた広報宣伝活動の充実と併せ、全職員の担当中学の分担や、専従広報職員の配置を検討していく。部活動や特色ある教育活動、さらには8大接客用語を中心に広報の充実に努め、より一層の生徒確保に努める。